

令和元年度 花塾（花き消費者研修）

ガーデニング経験者コース 第2回を開催しました

「クリスマスを迎えるガーデニング」

4月から開催してきた「花塾」の最後となる研修会を、令和元年11月13日（水曜日）に午前の部、午後の部の2回開催しました。講師はNPO法人Green Fields（グリーンフィールズ）より吉川三枝子さんと安倍一子さんをお招きし、当日は39名が出席しました。

今回は、クリスマスの雰囲気を出した寄せ植えに挑戦しました。寄せ植えの入れ物は、プラ鉢ではなく、環境に優しいペットボトルを再生利用した不織布ポットを使用しました。

使用した花材はガーデンシクラメン、パンジー、ハボタン、ワイヤープランツ、クッションブッシュで、ガーデンシクラメンについては、屋外での越冬が難しいため、寒くなってきたら屋内に取り込めるようにしました。ガーデンシクラメンの根元を水苔で包む苔玉を作成し、ポットの上に置く形とし、外気温が低くなったら、屋内に入れ、皿などの上に置き管理する形式です。ガーデンシクラメンを置く下の位置にチューリップの球根を植えこみ、春暖かくなったらチューリップが咲くよう工夫を施しました。

シクラメンの根鉢を水苔で包むという作業に苦労していますが、普段の寄せ植えと違う管理方法のため、新鮮な内容となりました。

1 講師が花材について説明



2 ガーデンシクラメンの苔玉作成の実演



3 実習中



4 今後の管理について説明

